

国際宇宙ステーション(ISS)に提供する
ISS構成要素及び搭載物の
安全性確認に係る調査審議のポイント
(案)

平成26年1月28日
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
調査・安全小委員会

- 必要に応じて、安全審査の結果が設計にフィードバックされていることを確認
- (2) 安全審査プロセス
 - 審査員は経験を有するエンジニアと特定技術分野の専門家から構成され、開発初期から完了段階まで継続的に一貫した視点で審査を行っていることを確認
- (3) ハザード及びハザード原因の抽出手法
 - 複数の手法を用いてハザードを抽出することで、ハザード予測の網羅性を高めていることを確認
- (4) 抽出されたハザード及びハザード原因への対処
 - 軌道上での運用段階(船内における作業段階、船外曝露実験段階)に応じた安全対策が講じられていることを確認

1. 全般

- 今回の調査審議では、JAXAが実施している安全性確認のプロセスや考え方の全体像を改めて確認した上で、具体的な要素・搭載物についての安全審査の妥当性を評価した。
- 調査審議の結果、JAXAが実施した「汎用宇宙曝露実験用ハンドレール取付機構(ExHAM)」に係る安全審査の方法や結果等は妥当であると評価する。また、このことから、JAXAが実施している安全審査のプロセスや考え方は適切に機能していると判断する。

2. 調査審議の観点

(1) 安全確保の考え方

- ミッションの機能・性能を踏まえて、安全対策が検討されていることを確認